

12月3日 Workshop3 Group1

本日の JICA 研修は主にグループワークを中心に行われました。最初のグループワークでは Result chain の重要性を理解するために、タンザニアで行われたプロジェクトについての評価を2つのグループに分かれて行いました。吉田先生からプロジェクト評価の視点として、論理的にクリアかどうか、プロジェクト達成のために必要な活動や要素が入っているかなどが示されました。30分程度のグループワークの後に、話し合ったことについての発表を各チームで行い、考えの共有を行いました。その中で、遠隔教育のシステムを構築することや学びの継続を確保することで、生徒が学習を続けることができ、成果として教育へのアクセスが増えるといった意見が出されました。加えて、プロジェクトの最終的な影響として将来起こりうるリスクに対応するためのノウハウを手に入れられること、生徒の入学者数の増加につながることなどの意見も出されました。

2つ目のグループワークでは、プロジェクトカードゲームを行いました。プロジェクトカードゲームはあるプログラムについてのいくつかの Indicator Card を政策の修正や法律の問題、機関のシステム改革、組織や機関の改革、現場での改善のいずれかに当てはめていくものです。まず参加者は40分の時間で、いくつかのプロジェクトについてカードを並べていき、その後全体に向けて発表を行いました。発表後の質疑応答ではカードをそれぞれの場所においた理由などについて参加者の間で意見交換をしました。

最後に吉田先生からプロジェクト分析の重要性について説明が行われました。

